

府議
山田知事

語る 京都の未来



2月定例会で代表質問!!

酒井

知事へ質問
府政へ遺言

山田知事

京都府議会 2月定例会で 代表質問

山田知事の「遺言」

今期限りで勇退を表明されている山田知事にとって最期となる府議会2月定例会において、会派を代表して下記の項目を質問しました。

【質問項目】

- ・平成30年度当初予算案への評価
- ・これまでの京都
- ・現在も残る課題(行政と住民、児童虐待対策、大安心づくり)を提示し、状況を確認するとともに4つの対策を提案
- ・これからの京都
- ・将来想定される課題(医療と介護、観光振興、格差と共生)を提示し、対応状況を確認するとともに、4つの対策を提案。

【知事答弁概要】
これまでの京都から「行政と住民」について

これまでは、どちらかと言うと団体自治が目立っていたが、これからは住民自治が一番大切なものはめる自治ではなく、個々が支え合う、多様性を認めることから住民自治は進展していくと思えます。

これからの京都から「格差と共生」について

今、人が孤立した社会か人が支え合う社会かの大きな分岐点にある。
人々がともに信頼と絆で結ばれた社会を取り戻さなればならない。「格差社会」か「共生社会」か、格差があるうちは地方自治が上手く動かない。それどころか人々の心が荒廃していく。京都は共生社会を夢描いて進んでいくべきである。

弁を
答えて

未来を決めることはできない、しかし、未来を変えることはできる

知事は勇退を控えて私の質問に応える形で「遺言ではないが」と前置きし、「この未来しか私たちの明るい未来はない」と、右記の「残したい想い～格差と共生」を答弁されました。

私たちには未来を決めることはできない、しかし、未来を変えることはできると思います。京都府の、城陽市の未来をどうデザインするのか、現代を生きる、政治に携わる者としての責任を改めて感じました。

【これまでの京都からの提案】

- ①住民と行政の協働促進案
- ②虐待の発見と防止案
- ③新治安攪乱事案への対策案等

【これからの京都への提案】

- ①新たな健康指標の検討
- ②新体制での観光振興策
- ③未来へ向けた京都府の政策軸等